

第 45 回日本放射線技術学会中部部会
アンギオ・放射線防護合同研究会開催のご案内

アンギオ研究会 世話人	
金沢大学附属病院	飯田 泰治
浜松医科大学医学部附属病院	竹井 泰孝
放射線防護研究会 世話人	
金沢大学附属病院	能登 公也
名古屋第 2 赤十字病院	有賀 英司

テーマ『医療における被ばくと OSL』

酸化アルミニウムを素材とする OSL (Optically Stimulated Luminescence) 線量計が日本で利用され始めて 10 年を経過しました。OSL 線量計を利用した「ルクセルバッジ」は個人被ばく線量測定器として利用され、2010 年 4 月には線量計の国際化を踏まえて「クイクセルバッジ」として大きくデザインの変更が行われました。

現在、OSL 線量計の優れた測定性能から、個人線量計のみならず患者線量の測定などにその用途を広げています。

今回、アンギオ・放射線防護研究会では長年に渡って OSL 線量計をご研究されてきた長瀬ランダウア株式会社の小林育夫先生をお招きし、4 月より測定サービスの始まったクイクセルバッジの特徴、そして OSL 線量計を用いた患者線量測定についてご講演を頂きます。

この研究会を通じて、我々が最も身近に接している線量計である OSL 線量計についての理解が深まれば幸いです。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時 平成 22 年 11 月 20 日 (土) 9:30~11:00

会場 鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス 2F 第 4 会場 3523 講義室

講師 長瀬ランダウア株式会社 主席研究員 小林 育夫先生

※研究会参加に際しての注意事項※

当研究会にはどなたでもご参加頂けますが、中部放射線医療技術学術大会内のセッションのため、学術大会への参加登録が必要となります。

正会員 (日本放射線技術学会, 日本放射線技師会) 2000 円

非会員 3000 円、学生会員 (社会人学生は除く) 無料